

国語科 第2学年学習指導案

日時 平成15年6月12日(木) 5校時
対象 Aコース 16名 Bコース 7名
指導者 菊地 俊彦(Bコース 学習室教室)
佐々木 雄康(Aコース 2年1組)

- 1 単元名 すきなお話を読もう
- 2 教材名 スイミー
- 3 単元について

(1) 児童について

児童は、2年生になり、「みんなで読もう～ふきのとう～」の単元で、物語教材に触れ、語や文のまとまりや内容などについて考えたり、会話文に気をつけて読んだりすることを学んできた。また、「わけを考えながら読もう～たんぼぼ～」の単元では、説明文の教材に触れ、時間的な順序、理由の説明の順序などを考えながら、内容の大体をつかむ読みの学習をしてきた。1年生の「どうぶつの赤ちゃん」や「この本、おすすめします」また、「たんぼぼのちえ」の学習で、いろいろな読み物や友達が紹介してくれた本に興味を持って読むことや、不思議だな、そうだったのか、などの感動を持ちながら興味を持って読むことも学習してきている。

2月に実施したNRTの結果を見ると、通過率は、「話すこと・聞くこと」69.4%全国比94「書くこと」52.7%全国比95「読むこと」44.1%全国比92「言語事項」81.4%全国比110であった。言語事項を除いた3領域で全国を下回っており、その中でも「読むこと」の領域が最も低い値を示している。順序を考えながら大体を読むは全国比102で、概ね身に付けてきているといえる。しかし、場面を想像しながら読むこと83、内容を考えながら音読すること78と、大幅に低くなっている。

国語に対する意欲は高く、進んで教科書などを読もうとする児童が多い。2年生も2ヶ月が過ぎ、語や文のまとまりを意識した音読の仕方が、出来つつある。学校の図書室利用も多くの児童がしている。しかし、読む内容には偏りがあったり、自分の読む力に見合った本を、探せない児童もいる。

コース別学習についての意識調査の結果は、意欲面でのプラス傾向が93%、理解面でのプラス思考が83%と高い数値を示している。「わかりやすい。」「静かに勉強できる。」というプラス思考の意見が多い。

(2) 教材について

低学年の「読むこと」の指導内容は、「場面の様子などについて、想像を広げながらよむこと。(ウ)」「語や文としてのまとまりや内容、響きなどについて考えながら声に出して読むこと(エ)」である。

本教材は、楽しくファンタジックで、しかもドラマチックな物語である。知恵と勇気をもって元気に生きていくスイミーは、児童にとって憧れの存在となる。しかしその一方で、仲間と同じように、寂しい、悲しい気持ちを持っていることが児童にとって、スイミーを身近な存在として受け入れやすいものとしている。

またこの教材は、叙述が詩的であり、体言止め・倒置法・比喩などが駆使されている。この表現上の特色が、自然と語や文のまとまり、リズムや響きについて児童が目をつけるように構成され、文章表現の面白さを十分味わうことができるようになっている。

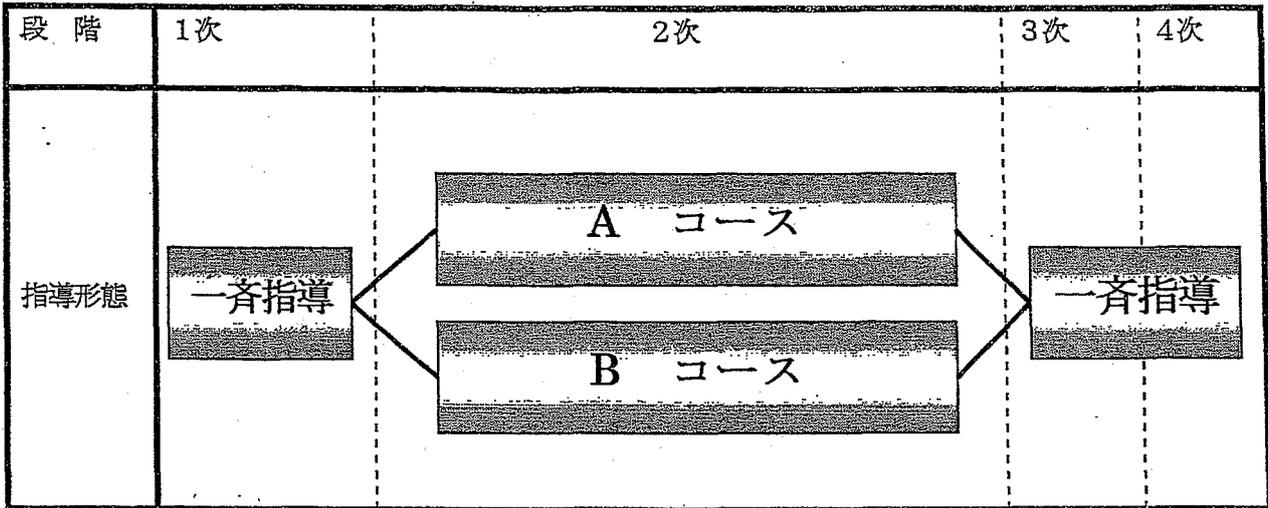
これらのことから、この教材を通して、児童は、場面の様子などについて想像を広げたり、感想の幅を広げたりしながら読み進めることができるであろう。また、物語の表現上の工夫により、言葉を大切にしたり、言葉に気づいたりしながら声に出して読むことが可能となる教材であると考えられる。

(3) 指導にあたって

児童の実態からもわかるとおり、「読むこと」の領域において、時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むことは概ねできている児童が多い。しかし、場面について豊かに想像しながら読んだり、内容を考えながら読むことは身につけているとはいえない。さらに、一部の児童は、文節単位でしか読むことができなかつたり、言語事項についても理解に時間を要したりしている。

そこで本単元の指導にあたっては、場面の様子などについて、想像したことを発表しながら、お互いに学びあう『Aコース』と、教師中心に言葉に着目させながら、場面の様子などについて、しっかり読み取っていく『Bコース』を設定し、児童の実態に応じた選択をさせていきたい。

(4) コース別学習の進め方



4 指導目標

- 登場人物や出来事に興味をもち、進んで読み取ろうとする。(関心・意欲・態度)
- 相手や目的を考えながら、「スイミー」の物語の紹介文を書く。(書くこと)
- ◎ 挿絵なども参考にしながら、場面の様子を想像して読む。(読むこと)
- ◎ レオ＝レオニの本やほかの絵本などを興味を持って読む。(読むこと)
- 1年生で習った漢字を書き、また、漢字の読み方に注意する。(言語事項)

5 身につけたい基礎・基本の力

領 域	つきたい力 (達成目標・評価規準)	指要	判 断 基 準 及 び 手 だ て
関心・意欲・態度	①登場人物や出来事に興味を持ち、読もうとする。	ア	A：登場人物や出来事に興味を持ちながら進んで読もうとしている。 B：登場人物や出来事に興味を持ちながら読もうとしている。 C：登場人物や出来事がはっきりわかるような板書を心がけ、読書に興味を持つような環境を作る。
話す・聞く	①物語の中の出来事やスイミーの気持ちを、相手に分かるように話す。	ア	A：物語の中の出来事やスイミーの気持ちを、相手に分かるように、順序を考えながら話す。 B：物語の中の出来事やスイミーの気持ちを、相手に分かるように話す。 C：話をする相手を限定して、物語の中の出来事やスイミーの気持ちを話す。
書くこと	①相手や目的を考えながら、「スイミー」の物語の紹介文を書く。	ア	A：相手や目的を考えながら、わかりやすく「スイミー」の物語の紹介文を書く。 B：相手や目的を考えながら、「スイミー」の物語の紹介文を書く。 C：教師の提示するひな型を参考に物語の紹介文を書く。
読むこと	①挿絵なども参考にしながら、場面の様子を想像して読む。	ウ	A：本文の言葉に着目しながら、場面の様子を想像して読む。 B：挿絵なども参考にしながら、場面の様子を想像して読む。 C：ペープサートなども利用して、場面の様子を想像しやすくして、読み取らせる。
	②レオ＝レオニの本やほかの絵本などを興味を持って読む。	ア	A：レオ＝レオニの本やほかの絵本などを興味を持って複数読む。 B：レオ＝レオニの本やほかの絵本などを興味を持って読む。 C：読み聞かせを取り入れ、本に興味を持たせる。
言語事項	①1年生で習った漢字を書き、また、漢字の読み方に注意する。	オ(ア)	A：1年生で習った漢字を書き、また、漢字の読み方と書き方に注意する。 B：1年生で習った漢字を書き、また、漢字の読み方に注意する。 C：教科書に読み仮名を書かせ、繰り返し音読をするとともに、紹介文を書くときに、既習の漢字を書かせる。

6 指導計画・A、Bコース共通 (全14時間)

段階	学習活動	時間	評価規準					
			関心意欲態度	話す・聞く	書く	読む	言語事項	
一次	見通し ①全文を読んで、登場人物、出来事を確かめる。	1	登場人物や出来事を進んで読み取ろうとしているか。		前文を読んで、感想を書くことが出来るか。	全文を読んで、登場人物、出来事を読み取ることができるか。		
二次	場面の様子を想像しながら読み取る	①兄弟たちと楽しく暮らす様子を読み取る。	1	兄弟たちと楽しく暮らす様子を想像しているか。			兄弟たちと楽しく暮らす様子を想像しながら読み取ることが出来るか。	
		②マグロの様子とスイミーの様子を読み取る。	1	マグロの様子とスイミーの気持ちを想像して読んでいるか。			マグロの様子とスイミーの気持ちを想像しながら読み取っているか。	
		③スイミーが出会った海の生き物の様子を想像する。	1 (本時)	スイミーが出会った海の生き物の様子を想像しようとしているか。			スイミーが出会った海の生き物の様子を想像しているか。	
		④スイミーと赤い魚たちの様子を読み取る。	1	スイミーと赤い魚たちの気持ちを読み取ろうとしているか。			スイミーと赤い魚たちの気持ちを想像しながら読み取っているか。	
		⑤スイミーが考えた作戦について読み取る。	1	スイミーが考えた作戦について読み取ろうとしているか。			スイミーが考えた作戦について読み取っているか。	
		⑥解放された魚たちの様子を読み取る。	1	解放された魚たちの気持ちを読み取ろうとしているか。			解放された魚たちの気持ちを想像しながら読み取っているか。	
三次	読み取ったことを表現する	①好きな場面を選び、音読練習をする。	1	好きな場面を選び、音読をしようとしているか。			好きな場面を選び、音読練習をしているか。	既習の漢字や新出漢字の読み方に気をつけているか。
		②好きな文や工夫していると思った文を書く。	1	好きな文や工夫していると思った文を書こうとしているか。		好きな文や工夫していると思った文を書くことができるか。		倒置法、体言止め、比喩表現について気がついているか。
		③「スイミー」の物語を紹介する文を書く。	3	進んで紹介の文を書こうとしているか。		紹介の文を物語りに沿って書いているか。		1年生で習った漢字を使っているか。
四次	発展読書をする	①レオ＝レオニのほかの作品を読む。	1	レオ＝レオニのほかの作品を読もうとしているか。			レオ＝レオニのほかの作品を読もうとしているか。	
		②好きな本を読み友達に紹介する	1	好きな本を読み、友達に紹介しようとしているか。	好きな本を読み、友達にわかるように話しているか。			

7 本時の指導

(1) ねらい

【関心・意欲・態度】 スイミーが会った海の生き物の様子を想像しようとしている。

【読む】 スイミーが会った海の生き物の様子を想像することができる。

		関心・意欲・態度	読む
評価規準		①スイミーが会った海の生き物の様子を想像しようとしているか。	②スイミーが会った海の生き物の様子を想像することができるか。
判断基準・支援の手立て	A	スイミーが会った海の生き物の様子を 進んで想像しようとしている。	スイミーが会った海の生き物の様子を言葉 を手がかりに2つ以上想像することができる。
	B	スイミーが会った海の生き物の様子を 想像しようとしている。	スイミーが会った海の生き物の様子を想像 することができる。
	C	様子を想像できるように挿絵や資料など を提示し、興味をもたせる。	・(上位群) カードのヒントを手がかりに、お もしろいところやすばらしいところを考えさ せる。 ・(下位群) 海底をイメージしやすいような挿 絵などを用意して、想像させる。

(2) 展開 (Aコース)

学 習 内 容	時間	教 師 の 指 導	評 価
1 前時を想起する。 2 課題を確かめる。	3	・マグロが兄弟を飲み込んだこと、スイミーだけ助かったことを確認する。 ・暗い水のそこを泳ぐスイミーの気持ちをおさえる。 ・スイミーが次第に元気を取り戻すことをおさえる。	
スイミーは、海の中で、どんなものに出会ったのか。			
3 見通しをもつ。	2	・「すばらしいもの」「おもしろいもの」を見つけて確認する。	
4 学習場面を音読する。	2	・スイミーが出会った「おもしろいもの」を6つさがしながら読ませる。	評価② カード
5 スイミーが出会ったものについて想像する。 (1) くらげについて	5	○ 最初に出会ったものは何かな。 ・「くらげ」としておさえさせる。 ○ スイミーが出会ったのはどんな「くらげ」か、想像してカードに書きましょう。(にじ色のきれいなくらげ) (ゼリーのように透き通ってきれい)	
(2) いせえびなど (一人学び)	8	○ 他のものについても、自分がくわしく想像してみたいものを選んでカードに書きましょう。(できたら他のものも想像しましょう) (いせえび・ブルドーザーみたいでゴツイ) (魚たち・・・糸に引っ張られるみたいで動いておもしろい) (こんぶやわかめの林・くやくやくにやしている。ドロップみたいでつぶつぶの岩) (うなぎ・・・すごく長い) (いそぎんちゃく・・・ゆらゆらゆれる)	
6 スイミーが出会ったものについて話し合う。	12	○ くわしく話したいものについて、自分の考えを話しましょう。 ○ 海の中の様子を考えて、ノートにカードを並べましょう。	評価② 発言
7 スイミーの様子を想像する。	8	・板書で確認する。(のり付け) ○ 「くらげ」に出会ったとき、スイミーはなんて言ったでしょう？ ・教師が吹き出しにまとめる。 ○ ノートの海を泳ぎながら、「おもしろいもの」に出会ったときのスイミーのつぶやきを吹き出しに書きましょう。(いくつでも)	
8 学習のまとめをする。	5	○ スイミーが出会った「すばらしいもの」や「おもしろいもの」について確かめる。	
9 ふりかえる。		・学習のふりかえりをさせる。	
9 次時の予告		・次時の学習内容を確認する。	

(3) 展開について

この展開は、上・中位群の児童を対象にしたものである。言葉を手がかりにして、1つ1つの出会ったもの様子をくわしく想像させるとともに、後半には、その中を泳ぎながら元気になっていくスイミーの様子をイメージさせていきたい。

(2) 展開 (Bコース)

学 習 内 容	時間	教 師 の 指 導	評 価
1 前時を想起する。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ マグロがやってきて兄弟たちを飲み込んだことや、スイミーだけが助かったことを確認する。 ・ スイミーの心情についてしっかりと抑える。 (こわかった さびしかった とてもかなしかった) ・ 課題を書く。 	
2 課題を確かめる。	4		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> スイミーは、海の中で、どんなものに出会ったのか。 </div>			
3 見通しを持つ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ どの段落を読めばよいのか確認する。 	
4 音読をする。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の場面を音読する。(一斉) ○ どんな海の生き物が出てくるか気をつけて読みましょう。 ・ 登場するものは何かを確認する。 (スイミー くらげ いせえび) ・ 大事なものは何か確認する。 ○ どうしてスイミーはだんだん元気を取り戻したのだろう。 ・ スイミーの様子を想像させる。 (おもしろいものを見た。) 	評価① 表情・活動 評価② ノート 発言
5 スイミーが元気を取り戻すきっかけを読み取る。	5		
6 スイミーがどんなものを見て、どんなことを思ったり感じたのか想像する。	15		
7 学習のまとめをする。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習のまとめを書く。 ・ スイミーになりきり、日記としてまとめさせる。 	
8 ふりかえる。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の振り返りをさせる。 	
9 次時の予告		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次時の学習内容を確認する。 	

(3) 展開について

この展開は下位群の児童を対象にしたものである。下位群の中には、本文をすらすらと音読することが、難しい児童や漢字をはっきりと認識できない児童もいる。また、声に出して読んでいても、内容の大体をつかめない児童もいると思われる。そこで、学習訓練の定着を図る意味からも、一人学びの時間というよりも、みんなでサイドラインを引いたり、音読を正確にしたりということを大事にしながらかみ取りさせたいと考える。机間指導を行い、全員が同じ作業ができるように注意したいと考える。